

指導事例

小学校 低学年	題材名  <b>てをあらおう</b>
------------	--------------------------

1 題材について

手洗いは、病気を予防するための身近な方法の一つであり、体を清潔に保つ手段でもある。さらに、気持ちよい人間関係を築いていく上でも大切なことであるが、低学年の児童の場合、目に見えない汚れを意識することがほとんどないため、清潔感を高めることが難しい。

しかし、手洗いは基本的な生活習慣の基礎であり、手や体を清潔に保つことが健康につながることを知らせ、自分の体を大切にすることを育てることは重要なことである。そのため、低学年の段階から、手洗いをやる理由や正しい手洗いの仕方を理解させ、実生活で実践化・習慣化していく力を身に付けさせることは意義深いと考え、本題材を設定した。

2 ねらい

○ 手を清潔にする理由を理解し、手をきれいに洗うことができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 日頃の手の洗い方を振り返る。	○ 日頃の生活を振り返り、自分がしている洗い方を発表させる。	
展開	2 手を洗うのはなぜかを考える。 ・どんな時手を洗うのか 食事の前、トイレの後、汚れた時 外から帰ってきた時 ・なぜ手を洗うのか きれいにする、病気にならない 気持ちいい	○ ばい菌がついた手で食事をした絵や写真カードを使って説明する。 ○ 病気の予防になることに気付かせ手洗いの大切さを確認させる。 ○ 友達と手をつなぐ時、汚れていると相手に不愉快な思いをさせることに気付かせる。	・写真 ・予想される答えのカード ・汚れた手の絵または写真
	3 手の洗い方を知る。 ・手の洗い方の順序について <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;">           1 手をぬらす。(水だけで洗う)            2 石けんをつける。            3 手の平を洗う。            4 手の甲と指の間を洗う。            5 親指を洗う。            6 指先を洗う。            7 手首を洗う。            8 洗い流す。            9 きれいなハンカチでふく。         </div>	○ 順序を1つずつ示し、模倣をさせ確認させる。 ○ 手の平、手の甲、指の間を意識させる。(指さしする、教師と一緒にやる等) ○ 清潔なハンカチを使うことや使い方理解させる。 ○ 日常生活で実践・習慣化する大切さに気付かせる。	・手洗いの順序が分かる絵や写真カード
	4 実際に練習してみる。 (手を絵の具で汚して) ・写真カード(絵)にそって	○ きれいに洗うことができたか確認する。	・絵の具 ・石けん ・ハンカチ
終末	5 学習のまとめをする。 ・手を洗う理由や、洗い方について確認する。	○ 手をきれいにすることは、自分の体も大切にすることにつながることを押さえ、実践化を促す。	

4 他の教育活動との関連

○ 節度・節制、自立(道徳)

指導事例

小学校 低学年	題材名  <b>からだをきれいに</b>
------------	----------------------------

1 題材について

体をきれいにすることとしては、手洗い・洗顔・歯磨き・入浴・排尿排便の後始末などがある。しかし、この時期の子どもたちは、自分から進んで体を清潔にしようとする意識は低く、周りの大人や教師から言われて実行することが多い。また、児童にとって体を清潔にするということは、目に見える表面的なものに限られている。

そこで、基本的な生活習慣を身に付ける「はじめ」の段階であるこの時期に、目に見えない細菌の存在や体を清潔にすることが健康につながるということを理解させ、体を清潔にする習慣や態度を養うことは非常に意義深いと考え、本題材を設定した。

2 ねらい

○ 生活の中で体をきれいにすることの大切さを理解し、自分の体をきれいにすることができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 ウエットティッシュで手を拭き体の汚れに気付く。	○ きれいに見えても体は汚れていることに気付かせる。	・ウエットティッシュ
展開	2 体の汚れやすいところを調べる。 ・目に見えやすいところ ・目に見えにくいところ	○ 日頃の体験を思い出させながら、汚れやすいところに印を付けさせる。 ○ 目に見える汚れ、目に見えない汚れについて押さえる。	・男の子、女の子の絵 <資料1>
	3 体を汚れたままにしているとどうなるか考える。 ・自分も気持ち悪い ・他の人も嫌な気分にする ・病気にかかりやすい	○ 体を清潔にすることの大切さに気付かせる。	
	4 体をきれいにするにはどうしたらよいか話し合う。 ・手を洗う ・顔を洗う ・歯をみがく ・お風呂に入る ・排尿や排便の後始末 等	○ 自分の体験をもとに、体の汚れやすいところをきれいにする方法を考えさせる。	
展開	5 体をきれいにする方法について確かめる。 ・入浴の必要性 ・入浴で気を付けること ・排尿や排便の仕方や後始末	○ 入浴は一日の体の汚れをとり、皮膚を清潔にするために大切であることを理解させる。 ○ 性器は大切なところだから清潔にすることを理解させる。 ○ 排尿や排便の仕方によって、正しい後始末の仕方があることを理解させる。	・入浴の仕方の絵 <資料2>  ・排尿や排便の後始末の絵 <資料3>
	終末	6 学習のまとめをする。 ・これから気を付けることについて考える。	○ 清潔な習慣の定着を図るため、自分がこれから気を付けることを確かめさせ、実践意欲をもたせる。

4 他の教育活動との関連

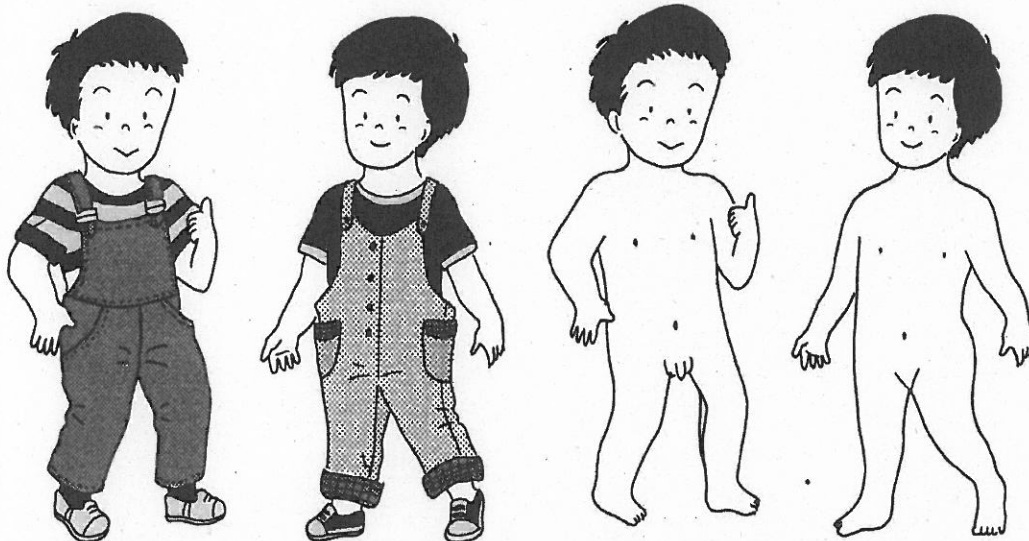
○ 節度・節制、自立（道徳）

5 授業の配慮事項

○ 入浴や洗濯等、家庭によっては毎日できない児童がいることに配慮する。

なまえ( )

からだのなかでよこれやすいところを○でかこみましょう。



からだをきれいにするためには、どんなことにきをつけたらよいか、かんがえてかきましょう。

---

---

---

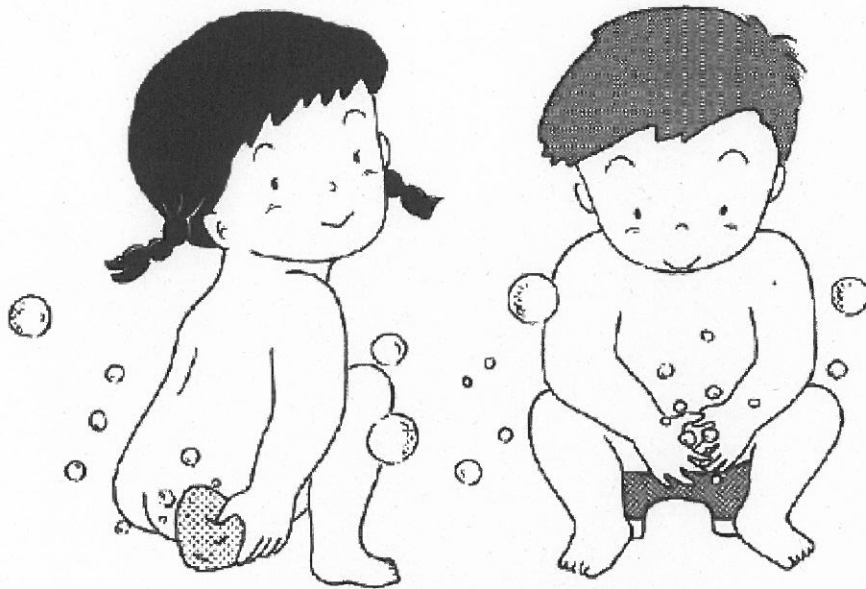
---

---

<家庭へのお知らせ>

○月○日(○曜日)の学級活動の時間に、性に関する授業を行いました。  
今回の題材は「からだをきれいに」でした。  
私たちの体には、目に見えやすい汚れと目に見えにくい汚れがあることや、それをそのままにしていたらどうなるかについて話し合い、その後、どうしたら体をきれいにすることができるかについて考えました。特に、入浴の仕方や排尿・排便の後始末の仕方については、性器はとても大切なところなので、きれいにしておく必要があること等を学習しました。  
そして、学習のまとめでは「からだをきれいにするために気を付けたいこと」を子どもたち自身で考え、実践していくことにしました。  
ご家庭でも入浴や排尿・排便の後始末、手洗いや洗顔、歯みがき等、子ども自身が自分の力で自分の体を大切に、そして清潔にできるよう、生活習慣の見直しや指導をお願いします。

<資料2> 入浴の仕方



おとこのこも、おんなのこも  
あたま、かお、て、あし、からだ、  
おしっこをするところ、  
うんちをするところをあらう。

<資料3> 排尿や排便の後始末



おしっこやうんちのあとは  
きれいに、よくふく。



かみをもったては、まえから  
うしろにむかってふく。

指導事例

小学校 低学年	題材名  おとこのこ おんなのこ
------------	------------------------

1 題材について

この時期の子どもたちは、男女の性器や排泄の仕方の違いについて、興味・関心をもち始め、性に関する質問も多くみられるようになる。

そこで、体の成長の様子や男女の体のつくりの違いを理解させ、様々な臓器が働いて体が成長していくことを理解させるとともに、自分を大切にしていこうとする心情を培うことは意義深いと考え、本題材を設定した。

2 ねらい

○ 自分たちの体の成長には、体の中の様々な臓器が働いていることを知るとともに、男女の違いを理解することができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 体の成長に気付く。 ・手や足の大きさ ・身長や体重 等	○ 赤ちゃんの頃と今の自分の手や足の大きさを比べ、大きくなっていることに気付かせ、成長の喜びを感じさせる。 ○ 個人差はあるが、それぞれ成長していることを理解させる。	・赤ちゃんの手形や足形の絵 <資料1>
展開	2 体の中の大切な臓器について話し合う。 ・心臓、肺、胃、腸等  3 男女の性器には違いがあることを知る。 ・男子（大きくなってくると赤ちゃんのもとをつくるようになる。） ・女子（おなかの中に赤ちゃんのたまごのもとをもっている。赤ちゃんを産むことができるようになる。） ・男女の性器には違いがあるが、どちらも「命のもとに関係があるところ」であること  4 大切な体を守るために自分でできることは何かを考える。 ・事故やけがに気を付ける。 ・病気になるない体をつくる。 ・体を清潔にする。	○ 体の中には、さまざまな臓器があり、それらが大切な働きをしていることに気付かせる。  ○ 男女の体の違いを明確にし、男女ともに大切な存在であることを認識させる。 ○ 大切な性器を叩いたり、蹴ったりしてはいけないことを理解させる。 ○ 大切なところをプライベートゾーンと言い、人に見せたり触らせたりしてはいけないこと、人を見たり触ったりしてはいけないことについて理解させる。  ○ 日常生活を振り返らせ、ワークシートに書かせる。	・各臓器の絵 <資料2>  ・プライベートゾーンの絵 <資料3>
終末	5 学習のまとめをする。	○ これからの生活について考えさせ、実践意欲をもたせる。	

4 他の教育活動との関連

○ 生命尊重(道徳)

5 授業の配慮事項

○ 体の成長の個人差に十分配慮する。

<資料 1> 赤ちゃんの手形・足形 (実物大)



<資料2> 各臓器の絵

<しんぞう>

きれいな血えきをからだの中におくりだすポンプ  
のはたらきをします



(卵巣)

生まれたときから、赤ちゃんのたまご  
のもとが、たくさんつまっています。

(子宮)

赤ちゃんのそだつ  
へやがあります。

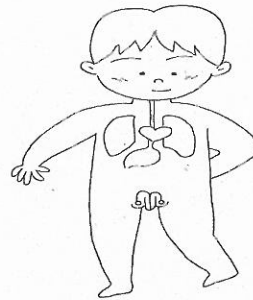
(精巣)

ここには、いのちのもとを  
つくるしくみがあります。

※ 卵巣・子宮・精巣の言葉は、指導しない。

<い>

食べたものをこまかくくだきとがします。



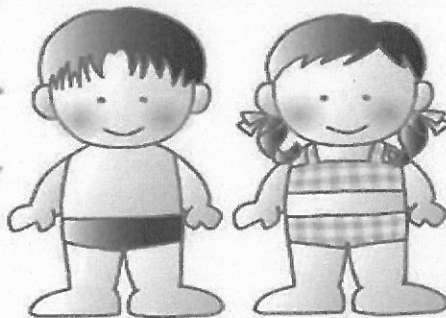
<資料3> プライベートゾーンの絵

からだをまもろう

からだは、かんたんに、みせない、さわらない！

からだは  
たいせつだよ

みずぎで  
みえないところは  
きみの  
たいせつな  
ひみつの  
ところだよ



じぶんの  
からだは  
かんたんに  
みせちゃだめだよ  
さわらせちゃ  
だめだよ

ほかのひとの  
からだも  
かんたんに  
みちゃだめだよ  
さわっちゃ  
だめだよ

学習用フラッシュムービー「からだをまもろう」 Copyright (C) 2005 保健室のパソコン活用. All rights reserved. 免責事項 ▶

おわる

<家庭へのお知らせ>

○月○日(○曜日)の学級活動の時間に、性に関する授業を行いました。  
今回の題材は「おとこのこ おんなのこ」でした。  
生まれてから個人差はあるものの、みんな大きく成長していることや、からだの中には、様々な臓器があり、大切な働きがあること等を学習しました。  
その中で、男女の性器には違いがあり、どちらの性器も「命のもとに関係があるところ」だということを知りました。  
また、水着で隠れる部分を「プライベートゾーン」ということや、その部分は人のを見たり触ったりしてはいけないこと、逆に見せたり触らせたりしてはいけないこと等についても学習しました。ご家庭でも、大切なからだ・命についてお子さんと話をしてみてください。

小学校 低学年	題材名  みんななかよし
------------	--------------------

1 題材について

この時期の子どもたちは、異性の意識が未分化の状態にあり、男女の区別はついても性的な感情はあまり育っていない。一方、男女別々に遊ぶことが多くなったり、異性間の反発的な行動が現れたりするようになる。また、自己中心的な考え方の強い時期でもあり、相手の気持ちを考えない言動が見られることもある。

そこで、このような時期に人と人との関わりを認識させ、男女にはそれぞれの特徴があるが、男女関係なく全ての人大切にされなければならないこと、そのためには、相手の気持ちを考えたり、自分が我慢したりする必要があることの大切さについて理解させることは意義深いと考え、本題材を設定した。

2 ねらい

- 異性の良いところを見つけたり、お互いの気持ちや立場を考えたりしながら、人の心を傷つける言動を慎むとともに、お互いの良いところを認め合い、仲良く明るく生活していくことができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 友達の良いところについて話し合う。	○ 自分の周りにやさしい友だちがいないか考えさせ、良い行動に目を向けさせる。	
展開	2 学級の友達のことについて話し合う。 ・困ったこと ・気になること ・こうしたらいいのと思うこと  3 男女の区別なく、もっと仲良しの学級にするにはどうしたらよいか話し合う。 ・どんなことに気を付けていったらいいか。	○ 日頃の気持ちを素直に話させる。 ○ 特定の児童に話題が集中しないようにする。 ○ 軽い気持ちでやっていることが相手にとって嫌なことがあることを理解させる。 ○ 異性に対する不満等があることに着目させる。  ○ 男女関係なく、良いところは認め合い、足りないところはみんなで補い合っていくことの大切さについて理解させる。	
終末	4 学習のまとめをする。 ・もっと仲良しの学級にするためにできることを発表する。	○ みんなで取り組むことを確認し実践意欲をもたせる。	

4 他の教育活動との関連

- 友情・信頼、助け合い（道徳）

5 授業の配慮事項

- 学級全体のこととして考えられるよう、配慮する。

<家庭へのお知らせ>

○月○日（○曜日）の学級活動の時間に、性に関する授業を行いました。  
今回の題材は「みんななかよし」でした。  
まず、お友達の良いところを知ることから始めました。学級の中で、困っていることや気になること、こうしたらいいのになあとと思っていることについて話し合いを行いました。  
そして、これからもっと学級が仲良くなる取り組みについても子どもたちと話し合いました。指導の中で、男だから・女だからとか、男のくせに・女のくせにといった固定観念をもたせないように、お互い一人一人の良いところを知って認め合い、足りないところはみんなできれいにしていくことが大切であることを確認しました。



指導事例

小学校 低学年	題材名  さそいにのらない
------------	---------------------

1 題材について

子どもたちは、学校に慣れてくると行動範囲が広がり、下校中など好奇心や関心の向くままに行動するようになってくる。そして、誰にでも親切にしようという意識が強くなるため、疑うことなく他人の誘いにのって、尊い命が危険にさらされたり、性被害を受けたりすることも懸念される。

また、身近で声かけ事案等が発生している現状もあることから、日常生活において身の安全を図る意識を高める指導が必要であると考え、本題材を設定した。

2 ねらい

- 知らない人に誘われた時の対処の仕方を知り、危険から身を守ろうとする意識をもつことができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 知らない人から声をかけられ、びっくりしたこと、怖かったことについて話し合う。 ・いつ、どこで、どうした	○ 児童の体験や知っていることなどを中心に話し合わせる。	
展開	2 どうして知らない人について行ってはいけないのかについて考える。  3 誘われたりするような危険な場所について考える。 ・見通しが悪いところ ・いつも遊ばないようなところ ・人が通らないところ ・周りに家がないところ ・誰もいない公園や神社等  4 被害を受けそうになった時の対応の仕方について練習する。 (被害を受けそうな場面) ・品物をあげる ・車に乗せてあげる ・道を聞かれる ・誘われる (家族が病気、事故等で一緒に行こう等) (対処の仕方) ・相手と距離を置く ・はっきりとした意思表示をする ・大きな声を上げる ・防犯ブザーを鳴らす ・近くの大人に助けを求める ・近くの家に逃げこむ 等	○ 誘拐されたり、いたずらされたり、命に危険があることについて押さえる。 ○ 誘われたりするような危険な場所はないか話し合わせる。 ○ 身近な場所についても十分目を向けさせる。 ○ 日頃人がいるところでも、時間帯によっては人がいなくなり、危険な場所となることについて押さえる。  ○ 誘われる場面を絵の提示によって明確に認識させる。 ○ 誘いの手口はとても巧みであることを具体的に理解させる。 ○ 役割演技をさせることではっきりとした意思表示が大切であることを理解させる。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <b>イカ</b>：知らない人についてイカない  <b>の</b>：人の車にのらない  <b>お</b>：おお声で叫ぶ  <b>す</b>：すぐ逃げる  <b>し</b>：何かあったらすぐにしらせる         </div> ○ おたすけハウスのマークとその意味を知らせる。	・校区内など危険な場所の写真  ・誘われる場面の絵 ＜資料1＞  ・参考：宮崎県警ホームページ 「イカのおすし」より  ・おたすけハウスのマーク ＜資料2＞
終末	5 学習のまとめをする。	○ 自己防衛の方法について確認し、実践化を促す。	

4 授業の配慮事項

- 実際に被害にあった児童がいる場合は十分に配慮する。
- 強い恐怖心だけを残さないよう留意する。

<資料1> 誘われる場面の絵



<資料2> おたすけハウスのマーク



<家庭へのお知らせ>

○月○日（○曜日）の学級活動の時間に、性に関する授業を行いました。  
今回の題材は「さそいにのらない」でした。  
「どうして知らない人の誘いにのってはいけないのか」や「校区内に危険な場所はないか」  
についてみんなで考えました。  
また、被害を受けそうになった時の対処方法についても実際に練習しながら学習しました。  
他人の話に疑いもなくのることは、尊い命を失ったり、性被害を受けたりすることにもつながりかねません。  
命はひとつです。ご家庭でも、近所や通学路等に潜む危険について具体的にお子さんと話を  
してみてください。「ここは大丈夫」、「うちの子は大丈夫」といった認識は危険です。

指導事例

小学校 低学年	題材名  <b>わたしのたんじょう</b>
------------	-----------------------------

1 題材について

この時期の子どもたちは、赤ちゃんの誕生に関心を持ち「赤ちゃんはどこから生まれるの」「どうやって生まれるの」等素朴な疑問をもつことが多い。しかし、家庭においてこれらの疑問に対して十分に答えることは難しいと思われる。

そこで、この時期に生命の誕生について正しく知らせるとともに、自他の生命の尊さを実感させることは意義深いと考え、本題材を設定した。

2 ねらい

- 一人一人が大切な存在であることに気づき、自分や他の人の体や命を大切に生きていくことができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 人はどのように生まれてくるのか考える。 ・かぐや姫は竹から ・桃太郎は桃から ・人間はどこから	○ 自分の命の誕生について、考えさせる。	・かぐや姫、桃太郎の絵 <資料1>
展開	2 妊婦さんの絵を見て気付いたことを話し合う。  3 おなかの中の赤ちゃんの様子について話し合う。 ・へその緒でつながっている。 ・羊水で守られている。 ・頭が下向き など  4 赤ちゃん人形を抱く。  5 家族からの手紙を読む。 ・家族みんなが赤ちゃんの誕生を楽しみにしていたこと等を知る。 ・名前の由来等について知る。	○ 妊婦さんの優しい表情や、おなかのふくらみに気付かせる。  ○ へその緒や羊水の役割を簡単に説明し、赤ちゃんがおなかの中で大切に育てられてきたことを理解させる。  ○ 胎児の心音や産声を聞かせることによって、胎児や赤ちゃんの命について考えさせる。  ○ 赤ちゃん人形を抱かせ、母親の赤ちゃんへの思いや命の重みを実感させる。  ○ 落ち着いた雰囲気の中で手紙を読ませる。  ○ 生まれたときから、ずっと大切に育てられてきたことに気付かせる。	・妊婦さんの絵<資料2>  ・胎児の心音や産声のテープ  ・赤ちゃん人形  ・家族からの手紙
終末	6 学習のまとめをする。 ・感想や家族への手紙を書く。	○ 親や家族の思いを知らせることで、命の大切さや一人一人が大切な存在であることに気付かせる。	

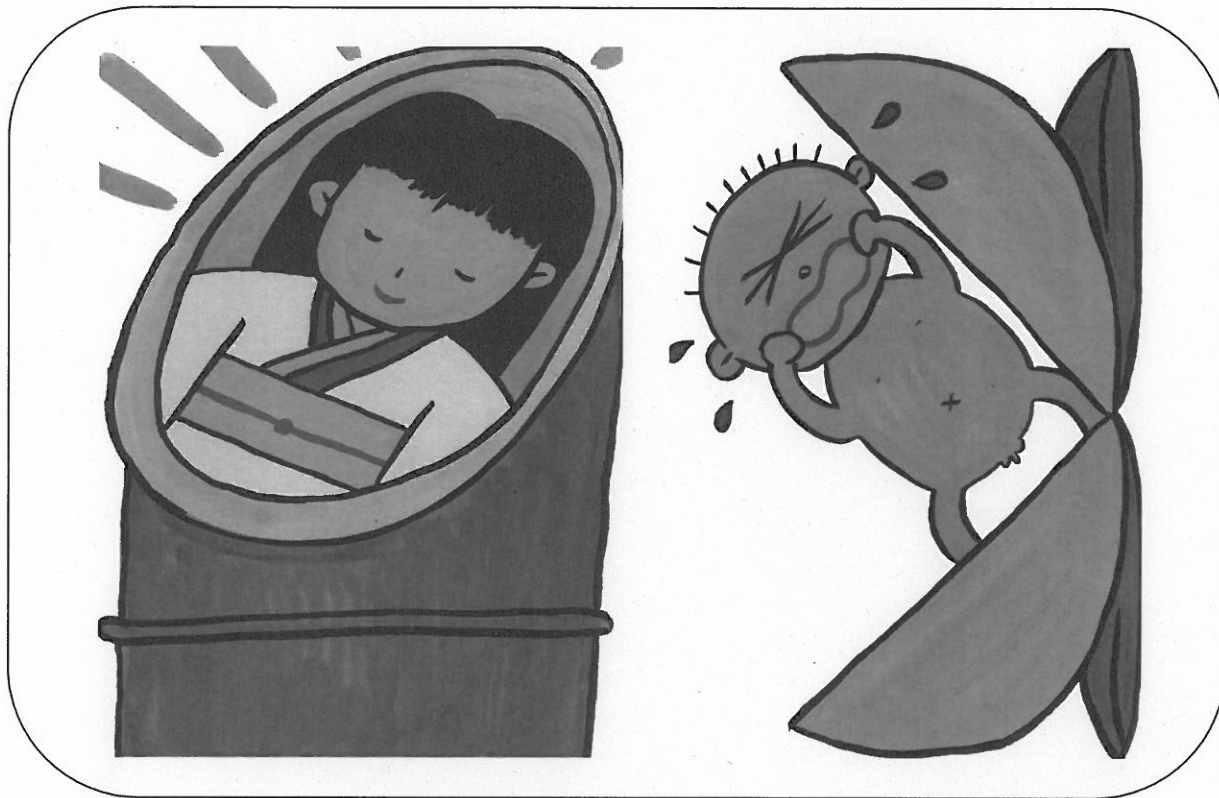
4 他の教育活動との関連

- 生命尊重(道徳)

5 授業の配慮事項

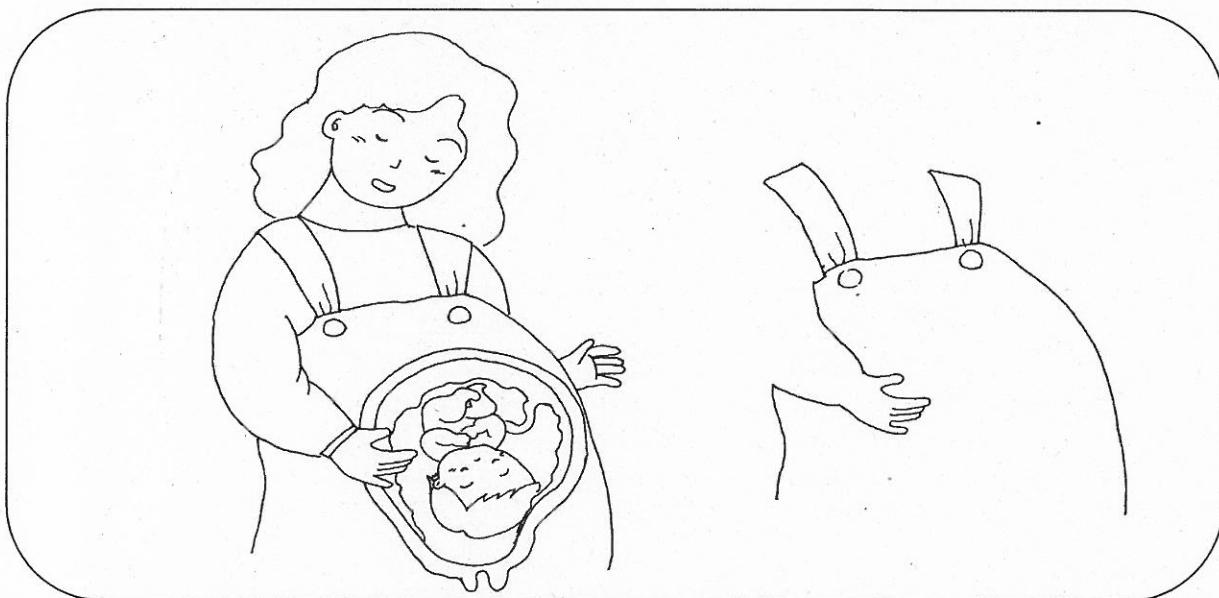
- 児童一人一人の生育環境、家庭環境に十分配慮する。
- 家族からの手紙については、事前に保護者からの十分な理解を得る。

<資料1> かぐや姫・桃太郎の絵



<資料2> 妊婦さんの絵

\*最初に、胎児がお腹にいる絵の上に、洋服のみの絵を重ねて、次に洋服をとると胎児の様子が見えるようにする



<家庭のお知らせ>

○月○日(○曜日)の学級活動の時間に、性に関する授業を行いました。  
今回の題材は「わたしのたんじょう」でした。  
授業では、お母さんから生まれてきたことを確かめた後、おなかの中での様子や生まれてきた時の様子について学習しました。  
生まれたての赤ちゃん人形を抱いた後、一人一人ご家庭にご協力いただいた手紙を読みました。どの顔も真剣で、嬉しそうに、そして、ちょっぴり恥ずかしそうに手紙を読む姿は、とても微笑ましいものでした。  
まとめとして、お子さんがご家族に手紙を書きました。ぜひ、一緒に手紙を読んでいただき、お子さんへの思いや願いを話してあげてください。